

事務事業名	天龍峡活性化事業			会計	一般会計	事業種別	政策	開始	19	終了	28
H27担当課等名	観光課	H27係等名	天龍峡活性化係	H26係等名	天龍峡活性化係						
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり								
	施策	12	未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化								
目的	対象(誰・何を)	天龍峡の観光客						対象指標	指標名及び単位		26年度数値
	意図(どういう状態にするか)	多くの方に訪れてもらう							天龍峡の観光客・人		259200
	向上させたい上位施策の成果指標	観光消費額(億円)									
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	天龍峡及び天竜川下り舟の観光客数・人				284600	259200	320000	353000		
	成果指標	ご案内人利用者数				4100	5160	4300	4500		
定性目標											
事業概要	<p>「天龍峡再生プログラム」に位置付けられた事業への取り組みや支援を行い天龍峡の再生・活性化を図り、街なみに賑わいを取り戻していく。同時に、「名勝天龍峡整備計画」に計画する整備事業を実施し、「名勝天龍峡」の適切な保存管理と公開活用を図る。</p> <p>1 天龍峡活性化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○天龍峡観光案内運営及び案内人研修等による育成 ○観光のまちづくりに向けた地元住民によるワークショップ、学習会等の開催 ○天龍峡観光の情報発信、誘客事業の実施 ○名勝天龍峡の適切な保護に向けた各種調査・検討会の開催、保全業務の実施 ○地元関係団体等の事業活動への支援・協力 ○観光施設管理 <p>2 天龍峡整備事業の実施</p>										
	事業内容										
26年度事業内容	事業内容					名称			活動指標		
	<p>1 天龍峡活性化事業</p> <p>2 天龍峡整備事業</p> <p>(1)名勝天龍峡整備検討委員会の開催</p> <p>(2)森林環境整備事業</p> <p>(3)史跡等買上げ事業</p> <p>(4)道路事業</p> <p>(5)緑地広場整備事業</p> <p>(6)情報板整備事業</p> <p>(7)地域創造支援事業</p> <p>観光施設安全点検、景観保全対策、天龍峡まちづくり支援</p>					<p>1 ご案内人利用人数</p> <p>2</p> <p>(1)回数</p> <p>(2)面積</p> <p>(3)面積</p> <p>(4)路線数</p> <p>(5)面積</p> <p>(6)箇所数</p> <p>(7)実施数</p>			<p>1 5,160人</p> <p>2</p> <p>(1) 6回</p> <p>(2) 6,400㎡</p> <p>(3) 13,895㎡</p> <p>(4) 2路線</p> <p>(5) 2,950㎡</p> <p>(6) 5カ所</p> <p>(7) 1式</p>		
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		92,348	147,311	131,598	133,603	[26特定財源]					
国庫支出金		30,917	82,148	58,593	60,416	(国)国宝重要文化財等保存整備補助金(5/10)11,811千円、(国)史跡等購入費補助金(8/10)11,669千円、(国)社会資本整備総合交付金(4/10)35,113千円、(県)文化財保護費補助金(3/100)650千円、(地)合併特例(充当率95%)54,000千円					
県支出金		4	650	650	0	(そ)繰越金2,132千円、(そ)諸収入377千円(駐車場代 375千円、電柱占用料 2千円)、(そ)ふるさと寄附金164千円					
起債		44,400	43,000	54,000	51,500	25→26 繰越明許費 76,966千円					
その他		1,732	2,540	2,673	2,308	26→27 繰越明許費 15,327千円					
一般財源		15,295	18,973	15,682	19,379						
人件費計(千円)②		17,880		17,880							
正規職員所要時間		5,000		5,000							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		110,228	147,311	149,478	133,603						
事業内容・目標達成状況の振り返り	天竜川下り舟の転覆事故による風評被害、東日本大震災等の影響が想像以上に長引き、目標達成できなかった。一方、各種ツアーへのおもてなしや、案内人による特別企画が一定の成果を上げ、平成26年度にもつながってきている。また、これまで整備を進めてきた既存遊歩道・園路の改修がおおむね完了した。										
改革改善の考え方	①問題点	天龍峡大橋歩廊への遊歩道連結及び天龍峡IC休憩施設の整備において国(国土交通省)と一体的な整備の必要があるが、天龍峡大橋の整備工程、IC休憩施設の整備方針・工程の決定が遅れている。									
	②改革提案	天龍峡大橋の工事の影響を受けない整備事業は、平成26～28年度までの社会資本整備交付金事業第2期計画として事業を進め、大橋に係る事業は国との協議を進め事業を推進する。									